

・自民党の脇雅史参院議員は5日、日刊建設工業新聞社のインタビューに応じ、経済対策として公共投資を有効に実施するには、中長期的な視点が必要との考えを明らかにした。09年度当初予算をできる限り前倒し執行した場合、年度後半には事業が息切れするため、「09年度補正予算が必要になる」と強調。09年度補正予算分と10、11年度分を含めた公共投資の3年計画（フェニックスプラン）を策定し、真に必要な事業を順序づけて明らかにすることで、適正な執行体制を確保することにも、国民の理解を得るべきだとの考えを示した。

経済対策で脇雅史参院議員



けるのではなく、中長期的視点が必要。5年程度先を見据えながら計画を立て、投資規模に合わせ、本当に執行率を目指すべきだろう。それだけ前倒しすれば、後半には09年度の補正予算が必要になる。併せて10、11年度の公共投資の実行計画をきちんと作っておく。これが『フェニックスプラン』だ。10年度予算の概算要求に併せ、09年度下期の補正予算と

の先の判断も出てくる。公共投資は3年間だけでは済まない」

「計画の中身の積み上げは、政府を挙げて行っべきだ。概算要求の精度で、どこで、どの程度の費用で、どのような事業を行うかを政府として明確に示せば、事業の執行体制

中長期的な視点で公共投資を

インタビューでの脇氏の発言の要旨は次の通り。

必要な事業を優先順位を付けて明らかにするべきだ」

11年度までの3年間の投資計画を、7～8月には示さなければならぬ」

が整ってくる。民間も含め先の計画を作ることができ、投資の経費を国民のために有効に使うことが可能だ」

「政府の経済対策には株価対策や雇用の助成などさまざまな分野があるが、公共事業については考え方を整理しておく必要がある。毎年、サポート的に補正予算で事業を付

「3月中には09年度当初予算が成立する見通しだが、今年やるべきは08年度1次、2次補正予算と09年度当初予算をできるだけ前倒しで実行すること。上期は85～90%程度の

「5年先と言ったのは、5年先を見据えながら3年計画を立てるという意味だ。麻生太郎首相の『全治3年』もあって3年計画を考えるが、そ

「3年計画の財源は建設国債になるだろう。投資規模に関しては、経済全体の動きも見ながら、実行可能な事業費

09年度補正から3年計画策定へ

をみていくことになる」

「今までの公共事業の考え方は、地域が利益を受けるので（国の直轄事業に）地方の負担金がかかる。この考え方は変えるべきではないと思うが、経済対策の妨げになるなら地方負担をどう考えるべきか、3年間の特例措置も必要だ」

「与党の景気・雇用創出プロジェクトチームや国土交通省、首相官邸をはじめ、いろいろなどころにこの考え方は伝えている。経済対策で公共事業を行つたら、きちんと計画的に行わなければ意味がない。特に、これから09年度の補正予算を付けようという時には、きちんとした計画を示すべきであり、役に立たないものにしてはもったいない」